



No.3569

第3887回例会  
令和7年9月17日OBIHIRO ROTARY CLUB  
DISTRICT 2500

会長 飛岡 抗

方針『夢をはぐくむロータリー』

2025-26年度国際ロータリーのテーマ よいことのために手をとりあおう

## ■会長報告

飛岡 抗 会長



先日の家族野遊会には大勢の皆さまのご参加ありがとうございました。充分楽しんで頂けたでしょうか。親睦活動委員会の吉田委員長はじめ委員会のメンバーの皆さまには、大変ご苦勞様でしたと同時にありがとうございました。

さて、本日の担当は職業奉仕委員会の移動例会です。ロータリーでは職業奉仕を語る場合、『サービス』という言葉をもっと広い意味で使っています。ロータリアンは孤立した個人ではなくロータリアンの職業関係を通じて買い手、売り手、同業者、従業員に対して最高のサービスの手本を示して実践すべき義務と機会を持っているとロータリーは考えています。このようにして職業奉仕という意味は、専門職、事業、或いは職業分類によって示されている職種の場合、及び、それを通じてロータリアン個人による奉仕の理想の積極的な表現であります。それならばと思ひ、学生気分です授業を受けて頂き、最高の職業奉仕体験となり、習ったことを地域へ語ろうではありませんか。長澤学長さまのご挨拶の中で日本の食料生産の中心地として「生産から消費まで」一貫した環境が揃う十勝に位置する本学は、生命、食料、環境をテーマに、農学、畜産科学、獣医学に関する教育研究を推進する、我が国唯一の国立大学と紹介されています。本学のミッションは「知の創造と実践によって実学の学風を発展させ『食を支え、暮らしを守る』人材の育成を通じて地域及び国際社会に貢献すること」です。と述べられております。本日はそこで、帯広畜産大学は日本で唯一の国立農学系単科大学で1,500名の学生が学び、地域経済の活性化、さらに将来を担う人材を輩出しています。会員の皆さんに改めて帯広畜産大学の特徴や魅力を知って頂き、職業人として地域の将来を考える機会として頂きたいと思ひます。プログラムは、長澤学長様の講話で『農畜産・食品加工の即戦力育成』の野望と題してです。最後、お時間がある方は米山奨学生のオーダム君によるキャンパスツアーも用意されています。職業奉仕委員会千葉委員長、委員会の皆さん、長澤学長様はじめ、大学関係者の皆さん、そして、米山奨学生のオーダム君に感謝とお礼を述べ会長報告とさせていただきます。

## ■ビジター紹介

東京ロータリークラブ

RI第2500地区 米山記念奨学生

たなべ まさのり  
田邊 昌徳 様  
オーダム  
鳥達木 様

## ■会務報告

池田 健太 幹事

- ①・帯広北RC、9月19日(金)の例会は、休会と致します。  
・帯広東RC、9月23日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。  
・帯広東RC、9月30日(火)の例会は、休会と致します。

- ②帯広南RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 9月22日(月) 午後6時

場 所 帯広競馬場内「焼肉ハウスれんが」

- ③帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 9月25日(木) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

- ④帯広北RC、家族野遊会開催のご案内

日 時 9月27日(土) 午後6時

場 所 帯広競馬場内「焼肉ハウスれんが」

※尚、9月26日(金)の繰下げ例会と致します。

- ⑤帯広南RC、移動例会開催のご案内

日 時 9月29日(月) 午前10時30分

場 所 帯広盲学校

- ⑥RI第2500地区大会(釧路)開催のご案内

日 程 10月24日(金)～10月26日(日)

場 所 釧路市観光国際交流センター

《大会1日目 24日(金)》ポリオディ 16:20～17:00 幣舞橋付近

《大会2日目 25日(土)》登録受付 9:00～ 観光国際交流センター

本会議 9:45～12:00 〃

昼食会 12:00～13:15 釧路プリンスホテル

入会3年未満会員の集い

女性会員の集い

アクト・青少年の集い

メジャードナー午餐会

本会議 13:30～17:40 観光国際交流センター

大会記念大懇親会 17:50～19:30 〃

《大会3日目 26日(日)》記念チャリティゴルフ大会 7:00～15:00 阿寒CC

バス 10/25(土) 6:40 発 10/26(日) 9:00 釧路発

ホテル日航ノースランド帯広発着となります。

## ■次週プログラム予定

9月24日(水)「イニシエーションスピーチ」新会員卓話

(プログラム委員会)

背戸田能章 会員・城市 巖 会員・茅毛 洋子 会員

## ■プログラム

(職業奉仕委員会)





# 北海道国立大学機構(畜大、小樽商大、北見工大)が新たに始める事業 「農畜産・食品加工の即戦力育成」の野望

## 帯広畜産大学の取り組み

帯広畜産大学 学長 長澤 秀行 会員

帯広畜産大学は、今から84年前の昭和16年に我が国初となる官立の高等獣医学校として設立されました。

その後、幾多の組織改革を経て、現在は、北海道国立大学機構を設置者とする、我が国で唯一の農畜産・獣医学を専門とする国立単科大学となっています。

国立大学は、全国に85校あり、公的資金を運営基盤としていることもあり、社会を先導する人材を、地方をはじめ全国で育成するための教育機会の確保や、国として継続的に実施すべき多様な研究の実施といった役割が求められています。

社会環境が変化する中で、各大学のミッションに応じて、よりその機能を高める必要があります。帯広畜産大学のミッションは、「食を支え、くらしを守る人材の育成を通じて、地域および国際社会に貢献すること」です。

十勝平野に位置する本学の西には日高山脈、北には大雪山系があり、この雄大な自然環境は、北海道の中でも特に素晴らしいものです。

北海道を代表する自然豊かな十勝地域は、映画やコマーシャル等のロケ地として、年間60件を超えて映像が使用されています。大学キャンパスも「宮沢 りえ」と「西島 秀俊」が出演したトヨタ ヴィッツのコマーシャルが白樺並木で撮影され、ラグビー場の西側

では「なつぞら」の撮影の他、キャンパス内では、たびたびテレビ番組の取材があります。既舎に関しては、「北の国から‘92巣立ち」で、帯広畜産大学の学生役の「和久井 勇次(緒方 直人)」に会いに「黒坂 蛭(中嶋朋子)」が訪れるシーンが撮影されました。また、「銀の匙」では「八軒(中嶋 健人)」と「アキ(広瀬 アリス)」が馬術部で活動するシーンは本学で撮影されました。

この自然環境と大陸的な気候は、十勝の基幹産業である畑作、畜産、酪農にも大きく寄与しています。十勝の農業算出額は北海道の4分の1、食料自給率は1345%です。十勝の自然環境は、基幹産業に大きく貢献するとともに、本学の教育研究を進める上で、大きな強みとなっています。本学は、北海道国立大学機構の一員として、農商工連携による教育研究を推進し、社会が必要とする農学系グローバル人材を育成していますが、今年、8月に内閣府による「地方大学・地域産業創生交付金事業」が採択されました。

この内閣府の事業は、国内有数の農業生産力を基盤として、生産、加工、流通、消費の各段階で新たな価値を創出するフードバリューチェーンの形成を通じた「十勝型フードシステム」により、地域経済の好循環の実現を目的とするものです。

帯広畜産大学には、例年約7割の学生が北海道以外から入学し、卒業後にはその約5割が北海道に就職しています。学生定着率の高さは関東の大学に肩を並べています。これからも本学は、人材育成を通じて地域および国際社会に貢献することにより大学の役割を果たしていきます。今後とも、地域の皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

沿革

84年前

1941(昭和16)年 帯広高等獣医学校

1944(昭和19)年 帯広獣医畜産専門学校

1946(昭和21)年 帯広農業専門学校

1949(昭和24)年 帯広畜産大学

2004(平成16)年 国立大学法人 帯広畜産大学

2022(令和4)年 国立大学法人  
北海道国立大学機構 帯広畜産大学

帯広畜産大学の教育

■ 共同獣医学課程(入学定員40名)

■ 畜産科学課程(入学定員210名)

■ 酪農専修[別科](入学定員15名)

獣医学ユニット

畜産生産科学ユニット

環境生物科学ユニット

食品科学ユニット

農林経済学ユニット

環境農業工学ユニット

植物生産科学ユニット

欧米水準の教育課程の構築

日本の獣医学教育改革を先導

北海道大学・帯広畜産大学 共同獣医学課程(2012年～)

北海道大学

帯広畜産大学

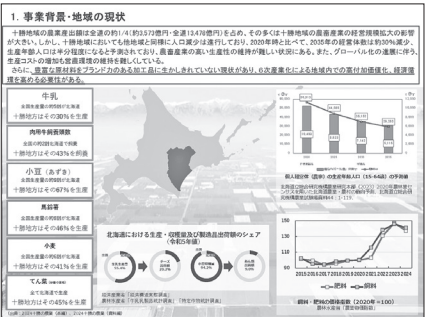
人間共通教育、基礎研究、特色動物臨床

産業動物臨床、獣畜衛生、食品衛生

欧州獣医学教育国際認証(EAEVE認証)の取得(2019年)

European Association of Establishments for Veterinary Education

日本で初めて獣医師ライセンスのグローバル化に対応



畜大、1000人当たり地元共同研究トップ

日経グローバル No.422

日本経済新聞が実施した「大学の地域貢献度調査」

ランキングは、大規模大学が上位になる傾向であるが、学生1000人当たりで分析を行った真のランキング

帯広畜産大学は、令和2年度、北海道内の企業等との連携実績において、学生1,000人当たりで計算した場合の地元(都道府県)との共同研究数が全国の大学で1位であった。

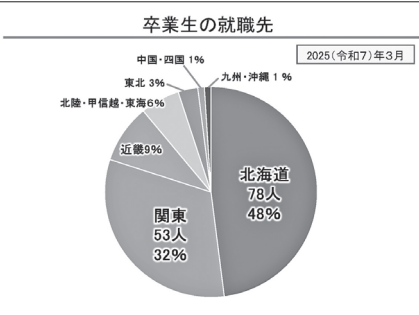
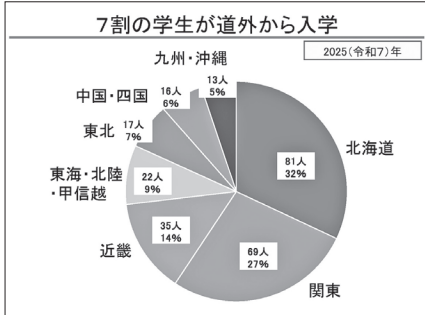
日本経済新聞社

2. 地域のめざす姿

● 畑作と酪農が有機的に連動した持続可能な畜産産業への移行と収量・品質の確保

● 地域の特色を生かし、消費者ニーズに応える食品加工技術と商品開発・市場開拓

● 国内有数の食料基地を背景とした、生産、加工、流通、消費の各段階で新たな価値を創出するフードバリューチェーンの形成を通じた「十勝型フードシステム」の形成による地域経済の好循環の実現



↑携帯サイトでできました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和10年3月15日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和25年12月19日

●事務局 / 帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 三谷 郁央 副委員長 / 佐藤 真康・大友 一弘

委員 / 荒井 純一・石原 宏治・林 浩史

●ホームページアドレス <https://www.obihiro-rc.jp> ●facebook <https://www.facebook.com/obihiro.RC/>